

熱中症による救急搬送状況（R7.5.1～8.10）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和7年5月1日（調査開始日）から8月10日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

- 令和7年5月1日から8月10日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、691人（速報値）でした。
 - 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
 - ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順。
 - ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症の順。
- なお、死亡者は0名。

死 亡	初診時において死亡が確認されたもの
重 症	傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路の順。

住 居	敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等	道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等	田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関	幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕	不特定者が出入りする場所の屋内部分 （例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕	不特定者が出入りする場所の屋外部分 （例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他	上記に該当しない項目

- 直近1週間（8月4日～8月10日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
37	0	0	3	9	25	0	0	12	25	0
発生場所										
	住居	工事現場、工場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場所		道路	その他		
					屋内	屋外				
	23	5	0	0	1	1	3	4		

県内の熱中症による救急搬送状況 (R5～R7)

1 年齢及び傷病程度(初診時)

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～8/10)	691	0	1	46	190	454	0	20	221	450	0
	(構成比)	0.0%	0.1%	6.7%	27.5%	65.7%	0.0%	2.9%	32.0%	65.1%	0.0%
[参考] 対R6同期比 (4/29～8/11)	+ 222	+ 0	+ 0	▲ 3	+ 72	+ 153	▲ 1	+ 11	+ 81	+ 132	▲ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1～8/13)	▲ 1	+ 0	▲ 4	▲ 13	▲ 12	+ 28	▲ 2	▲ 10	+ 41	▲ 11	▲ 19

【集計対象】 調査期間中に救急搬送した熱中症(疑い含む)の傷病者の人員数

2 発生場所別

(単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～8/10)	691	309	69	15	13	37	86	96	66
[参考] 対R6同期比 (4/29～8/11)	+ 222	+ 99	+ 34	+ 2	▲ 2	+ 1	+ 23	+ 34	+ 31
[参考] 対R5同期比 (5/1～8/13)	▲ 1	▲ 38	+ 2	▲ 6	▲ 3	▲ 8	+ 2	+ 21	+ 29

